

◆立教大学放送研究会 OB・OG 会のご紹介◆

《誕生》

放送研究会は昭和 27 年に民間放送が開始された頃、学生の身で番組制作に携わっていた河野哲丸さん（昭和 30 年卒：初代 OB・OG 会長）と 1 年先輩で演劇部に在籍していた松濤靖さん（昭和 29 年卒）が中心となり、同好会として昭和 28 年 4 月に発足しました。

しかし部室は無く「藤棚の下に集まれ」と声を掛け青空の下で発声練習をするような小さな集まりでした。

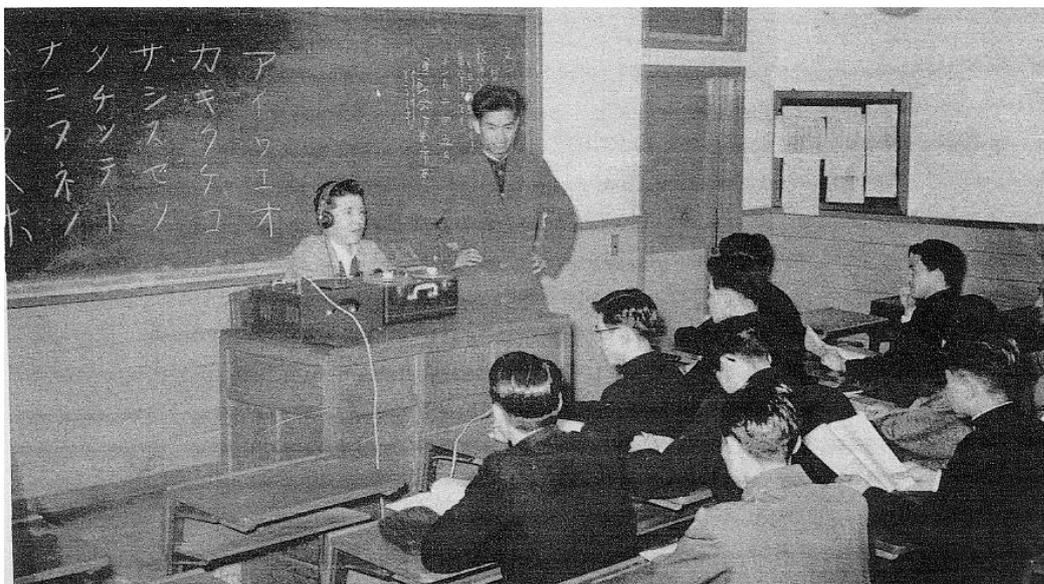
その後、正式に「部」として認められ小山栄三社会学部長を顧問にお迎えし短期間のうちに大所帯に成長、現在の隆盛の礎となる組織が生まれました。

《アナウンサーや放送局への勤務者が続々誕生》

昭和 30 年には山中達一さんが青森放送へ、31 年には近藤（旧姓大沢）嘉子さんが TBS へなど現在に至るまで毎年数名が NHK をはじめ民放のラジオ局・テレビ局へ就職、現在まで 100 名以上の放送局就職者を輩出しています。

昭和 33 年に卒業し、テレビ朝日にアナウンサーとして就職、その後独立してフリーアナウンサーやプロダクションの社長として活躍された押坂忍さんは当時の思い出を・・・

「私は岡山県の出身で岡山弁を直したくて放送研究会に入部しました。当時人気の映画俳優、石浜朗氏、ミスター・ジャイアンツの長嶋茂雄氏と同期で六大学野球では本屋敷、杉浦を擁し堂々の 4 連覇。まさに栄光立教の時代でした。下の写真は創部早々とはいえ、この中から 5 名の局アナが誕生しています。当時テープレコーダーはまだ高価で都度学生部から借りて練習に励んでいた」と語っています。



昭和 32 年頃のアナウンス練習風景

昭和34年に卒業しTBSに入社、主にスポーツアナウンサーとして活躍され、現在OB・OG会の役員でもある藤田和弘さんは当時の思い出を次のように語っています。

「神宮球場での六大学野球の実況中継で長嶋茂雄氏が大学野球新記録の8号ホームランを打った時の興奮が忘れられず『アナウンサーになろう!』と決心しました。ただその時、どのようにアナウンス描写したかは夢中で覚えていない」とのことです。



神宮球場で六大学野球の中継をする藤田和弘さん（左）「この時の経験がTBSのアナウンサーに進む大きな足掛かりになった」と語っています。

昭和38年には徳光和夫さんと青尾（旧姓：名村）幸さんが日本テレビに、土居まさるさん（本名：平川巖彦：故人）が文化放送に、高山典久さん（故人）と加賀美（旧姓：山田）幸子さんがNHKに、宇都宮基師さんが南海放送に、と入社されています。

当時、軽音楽部の司会を放送研究会の部員が担当していました。

ディキシーランド・ジャズは徳光さん、ウエスタンは土居まさるさん、ハワイアンは高山さんが担当、また土居まさるさんはスペインギタークラブの司会も担当されていたとのこと、司会がコンサートを盛り上げる重要な一員であったようで学内での放送研究会の知名度も急激に上がっていったようです。

昭和39年には早川健二さんがラジオ関東（現ラジオ日本）に入社、スポーツアナとして活躍されました。昭和41年には遠藤泰子さんがTBSに入社、今は亡き永六輔さんとの「永六輔の誰かとどこかで」はTBSラジオで1967年から2013年まで47年間放送されるなどTBSの看板アナウンサーとして活躍、現在もフリーのアナウンサー、司会者として活躍しています。

昭和42年にはみのもんたさん（本名：御法川法男）が文化放送に入社、その後の活躍は皆様ご承知の通りであります。

昭和54年には林正浩さんがTBSに入社、昭和56年には「うえちゃん」こと、上柳昌彦さんがニッポン放送に入社、昭和59年には川端健嗣さんがフジテレビに、佐藤仁美さんがテレビ朝日に、昭和60年には寺崎貴司さんがテレビ朝日に、昭和61年には戸崎貴広さんがTBSに入社と、3年連続でキー局にアナウンサーが内定しました。

平成に入ってから放送局へ入社した卒業生は多く、筆者（桜田智久）も平成9年にテレビ朝日に入社、アナウンサーではありませんが放送への思いと情熱は学生時代から変わっていません。なお平成16年にはNHKアナウンサーに田中寛人さん、中山準之助さん、原大策さんの3人が内定しました。放送研究会の面目躍如、といったところでしょうか。

上記の他にも多くのOB・OGがアナウンサーとして放送界で活躍しています。

また、放送だけではなく番組制作会社、広告代理店、レコード会社、音楽制作会社など放送業界と深い関係のある業界へ就職したOB・OGも数多く輩出しています。

《OB・OG会の活動》

現在OB・OG会の会員数は1,700名程で構成され、基本的に毎年「同窓会」という呼称で現役の3・4年生を交え「OB・OG総会」を開催していますがコロナ禍の影響で令和元年9月の開催を最後に中断している状況です。しかし今年の秋にはコロナも落ち着き、来年には創立70周年のOB・OG同窓会を開催できる状況になることを願っています。



令和元年、学内で開催したOB・OG同窓会でユーモアたっぷりに挨拶する徳光和夫さん

節目の周年記念では記念になるものを制作し、記念パーティーもホテルや学内の学食などで開催してきました。

平成16年の創立50周年では記念誌「藤棚に集まれ！」を出版、平成26年創立60周年では創立当時の歴史や現状の活動を映像化しDVDにまとめて記念制作いたしました。



創立 50 年に発行した記念誌



創立 60 年に制作したDVD



平成 26 年の創立 60 周年ではOB・OG100名以上が参加し第一学食で開催しました

《OB・OG会と現役との交流》

現在、放送研究会の部員数は約 300 名、毎年の新入生入部者は 200 名以上とのこと、近年新座にも新しい学部が作られるなど大学の規模も大きくなり学生数も増えたこともありますが部員数は隔世の感があります。

また放送関係への就職希望者も多いことから放送業界に勤務しているOB・OGの方に声を掛け就活対策を座談会形式で開催しています。ここ数年コロナ禍の影響で開催されていませんが本年は開催する方向で準備を進めています。

これからも伝統ある放送研究会のOB・OG会を発展させ親睦と絆を深め、現役との親密な交流を進めて参りたいと思っています。

立教大学放送研究会OB・OG会 会長 桜田 智久